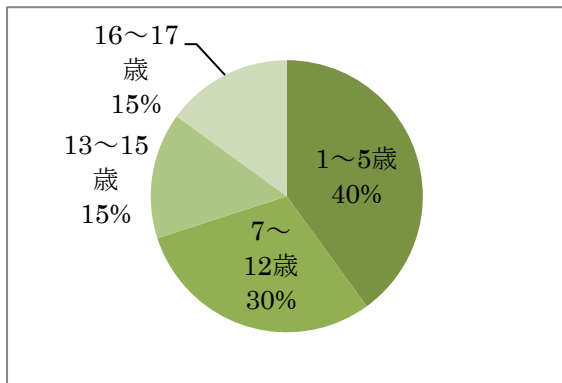


医療ケアを要するお子さんとそのご家族へのアンケートについて 結果報告

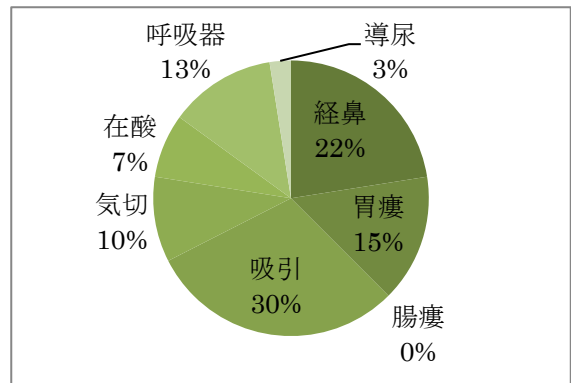
実施日 H29年9月16日～
アンケート協力者 24名

回収 10月6日～10月11日
回収率 83.4%（20名/24名）

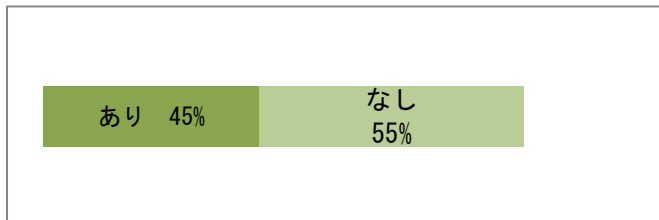
○お子さんの年齢



○必要な医療ケア（※重複を含みます）



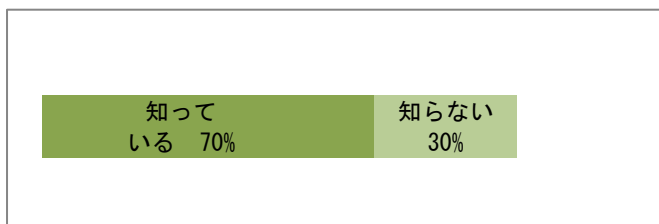
○災害時に助けを頼める近隣の方はいますか



地域の避難訓練に参加したことのある方は全体の20%でした

- ・ 普段から近所の方と挨拶や情報交換をしている。（家族の事情や子どもの様子など）
- ・ 民生委員の方と繋がっていて災害時は安否確認をしてもらえるよう手配している。
- ・ 隣の方と引っ越してきたときから折々手助けと声掛けしてくださるので災害時には真っ先お願いすると思う。
- ・ 友人や通院先の先生。

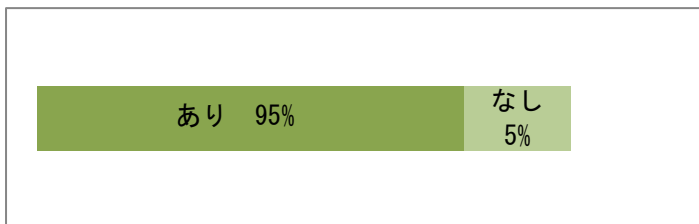
○避難行動要支援者支援制度（旧災害時要援護者支援制度）を知っていますか



※茅ヶ崎市障害福祉課より、制度についての冊子がありますのでご覧ください。

<災害時のためにどのような備えをしていますか。また、備えの工夫があれば教えてください>

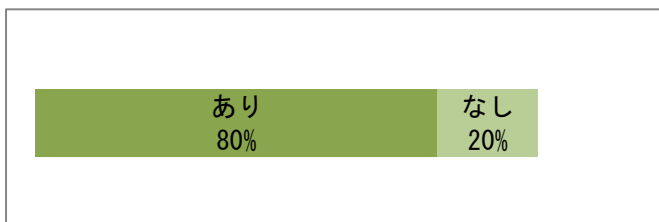
○食事○



【工夫】

- エネーボやラコール、半固形ラコール、レトルトの購入や多めに常備している。
- 2週間分は多めに処方してもらう。
- 家ではレトルトをリュックに、学校にも保管している。

○排泄○



【工夫】

- オムツ、パット、おしりふき、ビニール袋、ビニール手袋等をストックしている。
- 家ではオムツをリュックに、学校にも保管している。

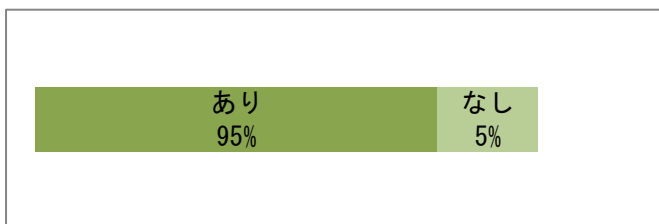
○清潔○



【工夫】

- 必要物品（ウェットティッシュ、アルコール、歯ブラシ、シャンプー・リンス、ボディソープ、清拭用タオル（使い捨て））
- お水タンク。 • 家では着替えをリュックに、学校も保管している。

○薬○



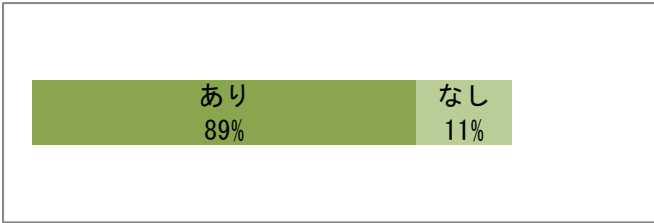
【工夫】

- 多めに処方してもらう。（1週間・2週間）

- いつも使っている物をすぐ持ち出せるようにしている。

- 学校にも保管している。

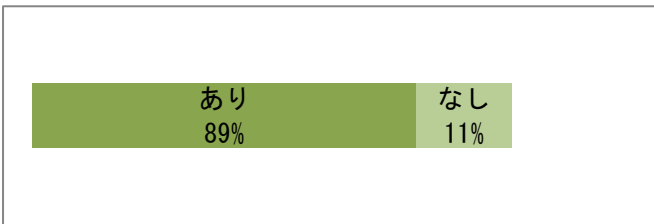
○器具○



【工夫】

- 常に多めに頂いて備えている。
- 1つのバッグにまとめたり、1つの場所に備えている。(シリンジ、カテーテルなど)
- 吸引器、手動吸引器の準備。

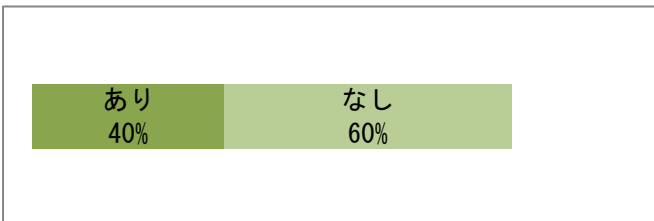
○水○



【工夫】

- 飲料水のストック（大きめのペットボトルやタンクなど）
- 避難所で頂けるよう連絡している。 • トイレ用や吸引用なども用意。
- 家ではリュックに入れている。

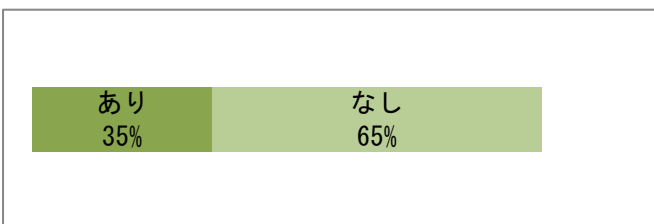
○電源○



【工夫】

- 車で電源が取れるようにガソリンはいつも多めに入れておく。(シガーソケットの活用)
- 予備電源を2つ持っている。 • USBが使えるモバイルバッテリー。
- 吸引器の充電機。(太陽光)

○その他（室内環境など）○



【工夫】

- 本人のまわりには落ちてくるものを置かない。

- ・階段や玄関、出入り口に物を置かない。高い家具を置かない。

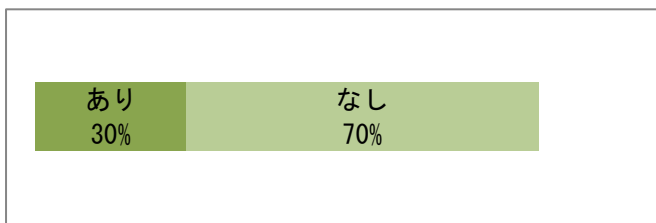
○それぞれの物の入れ替え、点検を忘れないための工夫はありますか○

- ・病院に行った時に確認するようにしている。
- ・毎月古いものから順に使い新しいものを備蓄する。
- ・携帯やカレンダー、目につくところに期限をメモ（入力）しておく。
- ・普段から出し入れして確認している。
- ・いつも薬等は持ち歩く（2週間分）その他の物は、いつでも運び出せるようにバックにまとめておく。

○その他に日ごろからの工夫はありますか○

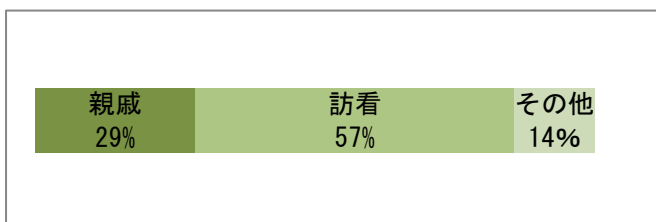
- ・防災速報のアプリや手動式吸引器、ホカロン、冷却用パッドなどの準備。
→日頃から使い方を把握し、いざという時に備えておくが良い。

○かかりつけの医療機関と災害時の対応について、相談、確認はしていますか

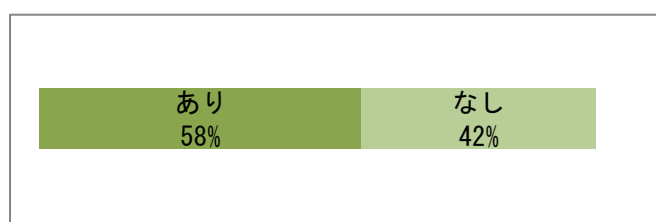


- ・受け入れの確認や災害レベルによって電源のみの場合も可能。
- ・病院に非常用電源があるので呼吸器の電源確保にまずかかりつけ病院へ行くよう言われている。
- ・災害時にどの病院に逃げてそこからどの病院に転院して特殊な薬はどの病院で受け取るかなど。
- ・薬や栄養剤（注入）を余分にもらっている。（一週間分くらい）
- ・何かあった時、病院に来ていいか、聞いてある。（吸引が多いため）

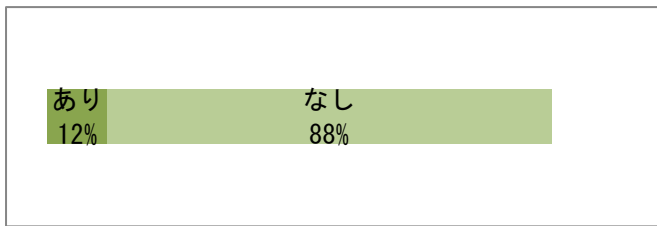
○かかりつけの医療機関以外に 24 時間での対応の確認はしていますか



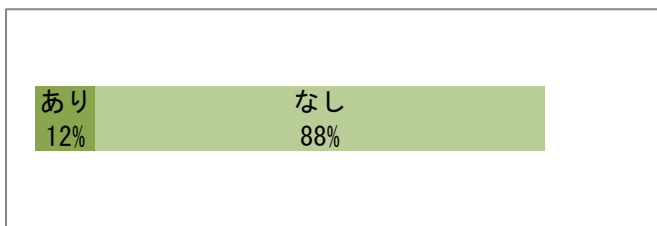
○日頃から学校、福祉機関、医療機関と災害時の対応について連絡体制などの確認をしていますか



○所属している機関や利用しているサービス機関、事業所などでの支援計画書などに災害時の対応について記載されていますか



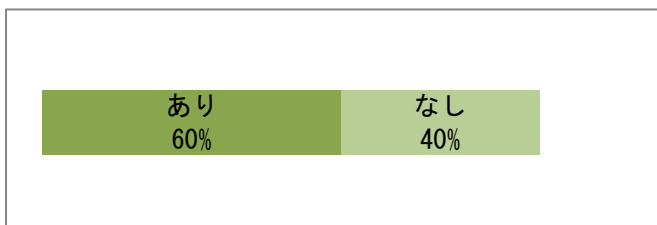
○避難するための工夫はありますか どのような工夫をしているか教えてください



【工夫】

- 避難バッグを本人の近くにおいている。
- もし車で移動が可能な場合のため、車中に必要最小限の物品を積んでいる。
- きっと避難せず自宅にいると思う。

○災害に備えて家族で話し合いをしていますか 話し合いの内容を教えてください



【話し合いの内容】

- 避難場所や集合場所の共有
(津波の際はマンションの上階に逃げる、大規模停電の時は近くの総合病院に避難するなど。)
- 災害用伝言板 (web171) の登録。
- 薬や人工呼吸器など、使用するものをまとめて持ち出す。
- 家で避難できるようなら家でと考えている。

○災害について、日ごろから感じていることや知りたいことなど（一部抜粋しています）

- ・呼吸器（3kg）を持っていけなかったら、避難所で用意してくれるのか。
- ・栄養や薬等は安全な所に確保しておきたい。
- ・「避難行動要支援者制度」は高齢者には有効な制度だと思うが、医療的ケアを要する子どもの場合には全く有効だと感じられない。子どもの状態を近所の人に説明するのは無理があるし、なかなか家から出るのもままならない中で、日常的に近所付き合いができる事も稀である。日頃から関係がある訪問看護ステーション等なら支援も受けられると思うが、大災害時に駆け付けるのは困難であると思う。そう考えると、やはり家族だけで逃げられる体制を整えた方が現実的だと思うし、実際にそのように準備している。むしろ気になるのは、避難先で数日間、医療的ケアが継続できるかどうか。そこが分かれば道になると思う。特に十分な電源が確保されるのかどうかは死活問題に直結すると思う。
- ・家が当面無事ならば避難はせずいつもの環境で過ごしたいと思っている。避難所などでは体調をくずすのはほぼ確実。避難所で過ごせるのか心配。
- ・持ち出し用の荷物をどこに置くべきか悩んでいる。
- ・近所の高いマンションが避難場所だが、上にあがっていけるのか心配。栄養の缶などかなり重いので抱っこしてどこまでできるのかわからない。平日の昼間、子どもがいる時は近所の方は高齢の方が多い。

☆結果をご覧になった後、

「ご家族で話し合ったこと」「確認したこと」「やっておこう（みよう）と思ったこと」など書いておきましょう。